

小型月着陸実証機SLIM の成果



©JAXA/タカライトミッション/ノーブルグループ(株)/同志社大学

2024
10月19日(土)
東京大学本郷キャンパス

総会

14:00-15:00
工学部2号館4階241講義室
※オンラインで参加の方は、
後日URLをお知らせします。

講演会

15:00-17:00
ハイブリッド開催
工学部2号館4階241講義室
※会場に来れない方向けに
オンライン(YouTube)
でも配信します。



【URL】
<https://www.youtube.com/live/MyCo5HleFbc>

パネル
討論会
懇親会

17:15-19:00
工学部2号館3階電気系会議室
会費:5,000円
※2020年3月以降に学部卒業の方は2,000円

講演者



SLIMの月着陸成功と
その意義

坂井 真一郎
宇宙航空研究開発機構(JAXA)



SLIMの着陸運用結果
について
～画像航法を中心に～

福田 盛介
宇宙航空研究開発機構(JAXA)



超小型月面探査
ローバLEV-1の価値

宇佐美 尚人
宇宙航空研究開発機構(JAXA)

パネル討論会・懇親会

宇宙科学ミッションと電気系:
SLIMからその先へ

◆モデレータ 谷 直樹 (NTT Digital)

坂井 真一郎
福田 盛介
宇佐美 尚人
豊田 裕之



豊田 裕之
宇宙航空研究開発機構(JAXA)

2024年度 東京大学電気系同窓会イベント

スケジュール

日時 2024年10月19日(土)

場所 東京大学本郷キャンパス

14:00-15:00 総会

15:00-17:00 講演会 〈司会〉矢谷 浩司

「小型月着陸実証機SLIMの成果」

SLIMの月着陸成功とその意義 坂井 真一郎

SLIMの着陸運用結果について 福田 盛介
～画像航法を中心に～

超小型月面探査ローバLEV-1の価値 宇佐美 尚人

17:15-19:00 パネル討論会・懇親会

宇宙科学ミッションと電気系:
SLIMからその先へ

◆モデレータ 谷 直樹

坂井 真一郎

福田 盛介

宇佐美 尚人

豊田 裕之

講演者プロフィール



坂井 真一郎

宇宙航空研究開発機構(JAXA)

JAXA宇宙科学研究所 宇宙機応用工学研究系 教授
SLIMプロジェクトマネージャー

1995年東京大学工学部電子情報工学科卒業、2000年同大学院工学系研究科電気工学専攻博士課程修了。博士(工学)。日本学術振興会特別研究員を経て2001年に宇宙科学研究所に助手として採用後、れいめい(INDEX)、ASTRO-G、ひさき(SPRINT-A)、あらせ(ERG)等、科学衛星の姿勢制御系開発に従事。併せて人工衛星の姿勢制御、電磁気フォーメーションフライト、探査機の着陸航法誘導制御等の研究に従事。2005年11月から准教授、2019年4月から教授。2016年4月からSLIMプロジェクトマネージャーを併任。



宇佐美 尚人

宇宙航空研究開発機構(JAXA)

JAXA宇宙科学研究所 宇宙機応用工学研究系 助教

東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻助教(兼担)
2014年東京大学工学部電気電子工学科卒業。2019年同大学院工学系研究科電気系工学専攻博士課程修了。博士(工学)。

2021年に宇宙科学研究所に助教として任官後、Comet Interceptor、SLIM・LEV等のプロジェクトに参加し腕を磨きつつ、電気系飯塚研究室とワンチップ無線機の研究に従事。周りからは宇宙研における今後の立ち位置・役割・専門性を日々問われ続けている。



福田 盛介

宇宙航空研究開発機構(JAXA)

JAXA宇宙科学研究所 宇宙機応用工学研究系 教授
東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻教授(兼担)
SLIMシステムマネージャー

1995年東京大学工学部電子工学科卒業。2000年同大学院工学系研究科電子工学専攻博士課程修了。博士(工学)。2000年に宇宙科学研究所に助手として任官後、一貫して、れいめい(INDEX)、ひさき(SPRINT-A)、あらせ(ERG)といった科学衛星の開発にシステム担当として従事。SLIMには探査機システムの初期検討段階から参画し、画像航法や着陸レーダ等の研究開発も担当した。



豊田 裕之

宇宙航空研究開発機構(JAXA)

日高・熊田研究室出身。2005年宇宙研に就職。NASDA衛星ADEOS-I, IIが、その名のとおりアディオスしてしまったため、帯電・放電現象の知見のある人材募集がかかり、応募してみたところ運良くJAXAに採用された。

当時、薄っぺらな見識から「日本の高電圧工学は極めて優秀、延命の研究しかなく面白くない。H2AもM-Vも失敗した宇宙開発の方が、遥かにエキサイティングだろう!」と考えて宗旨変え。

入ってみると全くの誤解であったが、全く別のアスペクトで極めてエキサイティングな世界であった。そのまま宇宙用電源分野を中心に、興味の赴くままに過ごすこと早20年。

学生時代には、自らの力でポジションを築くものだと思っていたが、自分はただそこにいただけ、めぐり合わせが居場所を作ってくれるのだとようやく気付いたアラフィフ而立。